



令和2年10月29日

**「産後うつ」「子どもへの虐待」「新型コロナ下での妊娠・子育て」
新たな支援課題は続々
15年目を迎える『妊娠中からの母子支援』即戦力育成プログラム』
受講生、募集開始**

周産期医療の崩壊が叫ばれて久しく、分娩のできる施設が減少し、産科医のみではなく種々の職種の連携が求められています。中でも、助産師は、出産時の支援や、妊娠・出産・産後の女性や赤ちゃんのケアだけでなく、思春期の子供への健康教育や性教育、更年期や老年期の女性への健康支援など、社会で幅広い役割を担うことが期待されています。しかし、「産後うつ」「子どもへの虐待」「新型コロナ下での妊娠・子育て」など、新たな支援課題が増加し、臨床の現場では対応に苦慮しています。

近年、**学校では学ばなかったことを、社会人になっても学ぶことができる学び直し、すなわち「リカレント教育プログラム」が注目されています。**岡山大学では、「産科の最新知識と超音波検査技術・新生児蘇生の知識」や、産後うつや虐待予防に役立つ「新生児・子育て家族への支援」、近年増えてきている「不妊症や流死産女性への支援」、さらには子育て広場でのボランティアや性教育など、幅広い内容を盛り込んだリカレント教育として、『妊娠中からの母子支援』即戦力育成プログラムを開講しています。**15年目を迎える『妊娠中からの母子支援』即戦力育成プログラムですが、毎年、進化を続けており、「デートDV」「性的同意」「LGBT」「SNSでの発信」「新型コロナ下での妊娠・子育て」などの新たなテーマを取り入れてきました。**

開講当時から、仕事や家庭と両立しながら受講できるよう、eラーニングでの学習や休日・夜間を利用した超音波などの演習・実習も取り入れており、全国からの受講生を受け入れています。さらに2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大にも対応するため、リアルタイムでのオンラインセミナーも導入してプログラムを開催中です（**詳細はホームページ**）。2007年から始まった本プログラムも2021年には15年目という節目を迎えます。2021年度の実講生募集が間もなく始まります。

<開催概要>

1. 名 称 「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム 21
2. 対 象 者 助産師・看護師・保健師
3. 募集定員 15名程度※応募者多数の場合は選考
4. 募集期間 2020年11月9日（月）～2021年1月15日（金）
5. 申込方法 募集要項（教務グループ担当（下記）より入手可能）を参照ください。
※募集要項は、HP（<http://www.okayama-u.ac.jp/user/josan/>）からもダウンロードいただけます。



<お問い合わせ先>

医歯薬学総合研究課等学務課教務グループ 保健学研究科担当

FAX 086-235-7045

TEL 086-235-7984

岡山大学大学院保健学研究科 中塚研究室内

「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム事務局

(Eメール) josan@cc.okayama-u.ac.jp

(TEL・FAX) 086-235-6538

(ホームページURL) <http://www.okayama-u.ac.jp/user/josan/>



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY



岡山大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。